

(仮訳)

カリモフ大統領発野田総理宛メッセージ

日本国内閣総理大臣 野田佳彦 閣下

閣下

ウズベキスタン共和国と日本の外交関係樹立 20 周年に際する、心からのお祝いのご挨拶を申し上げます。

日本とウズベキスタンの相互関係は、シルクロードの時代から何世紀にもわたる起源を有しており、その歴史ゆえに人文分野の交流や貿易及び両国の文化・伝統・慣習の相互の影響に関する多くの事例が人々の記憶にとどめられています。

私は、多大な満足をもって、今日においても両国関係が長期的かつ包括的に活発化し、その規模を拡大していることを強調したいと存じます。2002 年の友好、戦略的パートナーシップと協力に関する共同声明への署名は、かかる関係拡大の必然的かつ重要なステップとなるものでした。

独立したウズベキスタンがその体制を整えていく過程で、世界の先導的諸国のひとつである日本による重要な支持と協力、特に経済、投資、社会分野における極めて重要な大規模プロジェクトの実施を、私たちは高く評価しています。日本の企業、大規模金融機関、開発機関は、私たちが期待しかつ信頼できるパートナーとなっています。

2011年2月のウズベキスタン代表団による日本公式訪問の成果は、「中央アジア+日本」をはじめとする開かれた有益な政治対話に、互恵的な戦略的パートナーシップの深化に向けた実践的な努力により新たな動きを加えるという双方の志向と、現実の国際的・地域的諸問題に対する両国のアプローチの類似性を改めて示すものとなりました。

特に注目に値するのは、経済という重要分野における相互活動の揺るぎない制度上の土台となっている、経済協力に関するウズベキスタン・日本及び日本・ウズベキスタンの両経済委員会の活動と、両国関係の堅固な法的基盤の効果的な実現に向けた共同作業です。

両国が共有する共通の価値観及び長期的な利益に基づき、伝統的な二国間友好関係が、両国国民のために今後でき得る限り発展していくことを私は確信しています。

この喜ばしい機会に際し、貴総理に対して健康と成功を、日本の国民に対して平穏とさらなる繁栄をお祈りします。

敬具

タシケント
2012年1月26日
ウズベキスタン共和国大統領
イスラム・カリモフ